

はじめに

『初めて脳使い、はじめてのおつかい!!』

『掟が3つの置き手紙ツ!!』

この本は、ものづくりをはじめ、さまざまな業種で頑張って経営していらつしやる、中小企業の社長さん、親御さんから会社を受け継いだ若い経営者さん、補佐役の番頭さんなど、皆さんに読んでいただきたいものです。

本来の、人を大切にする日本型経営の良いところを生かして、お互いが切磋琢磨することにより、本当に『ありがたい姿』を実現するための参考にしていただきたい、という思いで執筆させていただきました。

今から60年前の話です。

わたしは田舎の駅前商店街で和菓子や洋菓子の贈答品を売る、小さなお店の長男として生まれました。

わたしの父親は元軍人で、寡黙で背中を見て学べというタイプの人でしたが、店を継ぐことになりました。商売を始めた当初、父親は1個10円の大福餅は、1個10円に決まっているものだと思っていました。つまり、売り上げや原価、利益のことなど何も知らなかったのです。

高度成長の時代でしたので、そんなサムライ商売（もちろんいろいろと工夫もし、努力もしていました）でも、何とか順調に売り上げを伸ばすことができていました。

しかし、皆さんもご承知の通り今の時代は違いますよね。

日々、売り上げ、原価、コスト、利益、会社の目標、従業員さんの採用・処遇・教育、お金のやりくり、技術・品質の向上・伝承、納期対応など、対応すべき問題が山積しています。

これらについて、番頭さんや従業員さんとさまざまに工夫し、大変な努力をしながら日々経営を行っているらしいです。

でも、今はなかなか思うようにはならない、複雑で解きほぐすのが難しい、変化の激しい時代です。

この本は別に、昔はよかったな！ と懐古するためのものではありません。

本当に皆さんそれぞれの会社にピタリくる理想的な『ありたい姿』の創造と実現の手助けをするものです。また現在やこれからの未来に、社長さんや番頭さん、個々の従業員さんがなすべき仕事について、具体的に考えるためのものです。

未来につながる具体的な施策を考えるにあたっては、まず社長さんが将来の自社における『ありたい姿』、つまり理念を創造し、それを実現するための『やりたいこと』、すなわち、ビジョンや戦略をはつきりとさせ、表明する必要があります。

そしてやりたいことを実現させるためには、社長さんの指示・命令に従って頑張って誠実に実行してくれる『やる人』を採用・配置・教育・評価・処遇する施策を考える必要があります。

もちろん、やりたいことの実現、やる人の採用・処遇には、『先立つもの』、つまり、資金や資源のやり繰りが必要ですね。

この『やりたいこと』『やる人』『先立つもの』の3つをバランス良くコントロールすることが、経営そのものであり社長さんの仕事です。

そんなに難しいことはありません。今まで系統的に学ぶチャンスがなかっただけです。この本で順番にご説明します。

残念ながら日本のものでづくり中小企業の経営者さんは、戦後の高度成長の時代に、一部を除き大企業の設計による製品を品質良く大量につくることを得意としてきたため、『やりたいこと』が明確ではありません。また、昔ながらの『背中を見て学べ、仕事を見て技を盗め』で、従業員さんの効率的な教育も不得意です。そして、高度成長の時代は銀行がどんどん貸し出しをしてくれましたので『先立つもの』にもあまり苦労せずにかきました。

つまり、今の時代に備えた勉強や準備はあまりしてきませんでした。

この本は、最初に述べました通り今の経営者さん、今後の若い経営者さん、補佐役の番頭さんなどの皆さんに、今、そして未来の経営に本当に必要な知識、手法を知っていただき、将来に向けて迷うことなく思う存分活躍していただくために執筆いたしました。経営の参考書として、幅広く活用していただければ幸いです。